

# みんなの 声 ひろば

## 子ども会との 農業体験交流



高橋 清己  
(上 市)

老人クラブ会員と子ども会の親子で、畑5アールの「そば作り体験」から始まった農業体験交流は、8年目となり、現在休耕田をお借りして「もち米作り体験」に挑戦しています。

昔ながらの方法で種まきから収穫まで、いつも大騒ぎで、実りの秋には、子どもたちは刈り取り、老人クラブ会員はハデ掛けなど、珍しい手作業を体験します。収穫祭は、杵と臼で、子供と息をあ

わせて餅つき。米寿の祝いとしても贈呈し、大にぎわいです。仲良しになった子どもたちにカブトムシやクワガタムシを採ってあげる

と「ありがとう」と大きな返事が返ってくるようになりました。「育てる」ことで子どもたちが生命の尊さを体感してくれたことを大変うれしく思っています。

## あとがき

だいせん議会だより第4号が県下町村議会だよりコンクールで優秀賞に選ばれました。全町村紙一重の差であつたそうです。

最優秀賞 若桜町  
優秀賞 大山町  
〃 日南町  
佳 作 琴浦町

現在本誌は、議案審議・委員会活動・一般質問・町民登場を柱にしています。

これからは「特集」や「協議会報告」も視野に入りたいと思います。

4月からケーブルテレビの放映が始まり、定例議会のナマ放送も茶の間で見られます。

御指導、ご協力をお願いいたします。

(富)

## 「夢追い人」 自分を語る



清水 環  
(陣 構)

海が見えて山が見える……こんな暮らしが夢でした。

「夢は語るものではない」と人は言うかも知れないが、私は人に夢を語りながら実はそれは自分に語り聞かせているのだと思います。その夢に対

する思い込みの度合いが強さを増し、そのうち協力者が現われ、徐々に夢の実現に近づいていく。人は物やお金で動くのではなく心で動くものだと信じています。

Passion 情熱が自分を突き動かし、人の心をも動かすのではないかと感じます。夢は子どもだけが見るのではなく、大人の私たちも熱い心を胸に追いかけて生きていきましょう。最後まであきらめないで追いかけた者にだけ与えられるもの。今年も夢に向かつてgo!

## 安心して 住める町に



大山 末子  
(坊 領)

縁あって、大阪から大山町坊領に嫁いで来て、30年経ちました。少しずつ変わっていく大山町ですが、以前から美味しい米、新鮮な野菜、魚介類が食べられることは、今でも変わりません。そして、四季折々に美しい姿

を見せてくれる大山、眼下に広がる日本海、この風景も変わらず自慢ができるものの一つです。現在わが家は、要介護の義母と夫、私の3人家族です。大山町も高齢化率が高くなってきていると聞きますが、わが家の

ように介護を必要とする老人を抱える家庭も、増えてくると思います。合併した大山町が、子どもたち、若者、高齢者、すべての人たちにとって、安心して住める町であって欲しいと思います。

## 《編集委員会》

委員長 西山富三郎  
副委員長 岡田 聡  
委員 遠藤 幸子  
委員 吉原美智恵  
委員 西尾 寿博  
委員 近藤 大介